

8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9

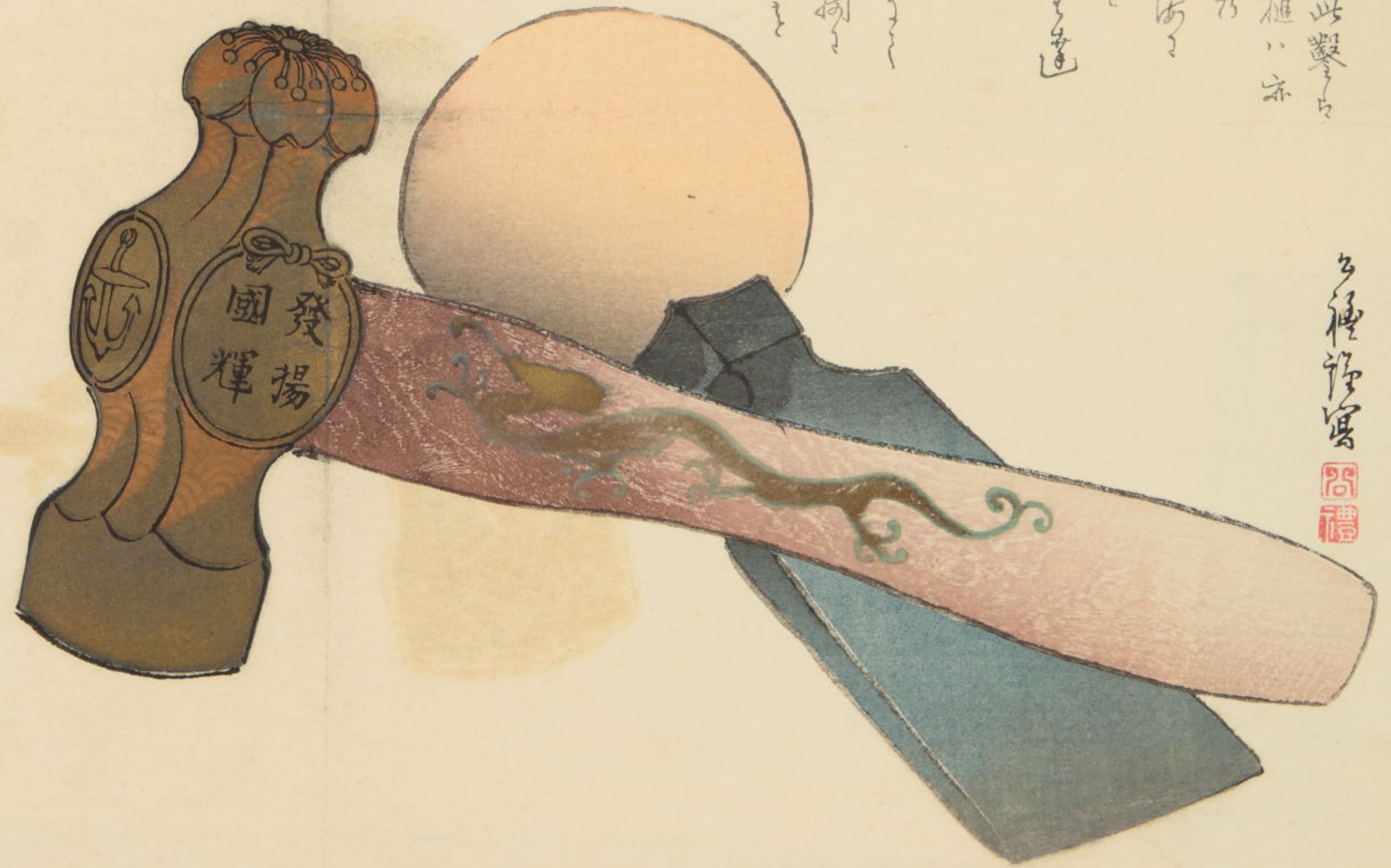
彩玉の年は好ぶく我々此輩は  
昔も刻む帝のものをいづれに  
宮殿にありし物もいづれに  
甲の在乃國の職をを四りの海  
輝一西氏とのふあり侍と  
お護の艦作に工事成り遂  
海に近めいづれに  
苗海はた古ちりていづれ  
雷すもは儀式とあり具  
槍り子矢神の周進水の何  
放ちやものいづれに  
梓銀さし中いづれに  
畷園と掃ふふちり

おあや其儀もいづれに  
んづれに 福の節もいづれに  
学や後ろふ言に富士の山 非文  
いづれに世の好いもいづれに 家味  
いづれにいづれに 美本  
いづれにいづれに 程月  
いづれにいづれに 夕日

御の又のさくも雲に花の  
馬切 梅門  
鬼斗 映風  
九象 料山  
初日の出



壬辰年



三種海軍 印

止翔や戸さくぬり代に仰く氏  
ふりやふりやふりやふりや  
むりやふりやふりやふりや  
只お祥象にけりてふりやふりや  
歯固やや光の響も響い振  
海軍の年一掃山の屯  
海軍の年一掃山の屯

壬辰年 梅枝







古  
中  
錦

第  
七

